

やいた 焼き板

【準備】

- 机を「㊸杉板を焼く場所」「㊹色つけをする場所」の2か所準備しましょう。
- 机の上に新聞紙を敷いておきましょう。

※㊸の机には焚き火シートを敷きましょう。

焚き火シートが足りない場合は、濡らした新聞紙を敷きます。

(焚き火シートと、濡らした新聞紙の上で杉板を焼きます。新聞紙が乾いたらまた濡らしてください。)

濡らした新聞紙

焚き火シート

【作り方】

- ①安全のため必ず軍手をしましょう。杉板をガストーチで焼きます。
※焼き具合はお好みですが、コゲるぐらいまで焼いても大丈夫です。
側面も忘れずに。裏面はお好みで。



- ②全体が焼けたら、真鍮ブラシでコゲやススを落とします。
※擦ってみて手につかないぐらい落とします。
※焚き火シートの上ではやらないでください。



- ③布切れで残ったススや汚れを落としきれいに磨きます。



- ④アクリル絵の具やポスカで絵や字を描きます。
※アクリル絵の具は水をつけすぎないようにするときれいに塗れます。



- ⑤最後にヒートンを取り付け、麻紐を通したら完成です。
※ヒートンが入りにくい場合は、キリで穴を開けると入りやすくなります。
キリを使うときは、安全に注意しましょう。



できあがり

注意とお願い

- 火を使いますので、やけどやけがのないように十分に注意をしてください。
- 机や床、壁などを傷つけたり汚したりしないようにしてください。
- 使用した場所は掃除をしてください。机・イスを整頓して、職員の点検を受けてください。
- 借りた用具は数を確認して、もとの場所へ戻してください。
- ごみはごみ袋に入れ、事務室へ持ってきてください。